

請負人用建築工事チェックリスト

平成27年版

発行 神戸市
編集 神戸市建築技術管理委員会

このチェックリストは、請負人が行うべき業務の概要を示したものであり、現場管理の参考となるようにまとめたものである。詳細は「神戸市工事請負契約約款」、「公共建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)」、「公共建築改修工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)」、「神戸市建築工事補足標準仕様書」等による。

【業務の概要】

業務概要欄の各印は、下記を基準に業務を行うことを示す。(すべての業務を示したものではなく、あくまで概要であり、詳細は上記仕様書等による必要がある。)

また、このチェックリストにより難しい項目等が生じた場合は、別途市監督員と協議する。

- ・**検** : 市監督員の検査を受ける
- ・**立** : 市監督員の立会いの下、指示又は確認等を受ける
- ・**承** : 市監督員の承諾を事前に受ける
- ・**提** : 市監督員に書類等を提出し、指示又は確認等を受ける
- ・**○** : 市監督員の確認、指示を受ける

建築工事チェックリスト

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
地質調査	標準貫入試験		設計上必要な地耐力・支持層の確認	立提		報告書の提出	○
	素掘り試験		設計上必要な地耐力・支持層の確認	立提		報告書の提出	○
	(4.2.4) 地盤の載荷試験		施工計画書, 平板載荷試験, 沈下量の確認	立提		特記の確認 報告書の提出	○
一般共通事項	建設リサイクル 関連資料		再資源利用(促進)計画書及び再資源利用(促進)実施書(出力表・FD共)	提			
	現場説明		敷地境界線, ベンチマーク, 設計G L	立		設計担当者の立会い 記録の作成	○
	(1.1.8) 設計図書の疑義		質疑応答書, 打合せ簿	提		記録の整備	
	設計変更		指示書による	○			
	(1.1.4) 工事实績の登録		請負金額 500万円以上の場合(500万円以上かつ2,500万円未満は受注時のみ) (受注時, 工期・技術者等変更時, 完成時)	○		特記の確認 データシートの確認 CORINS受領証の確認	
	(1.1.5) 施工管理体制		建設業法に基づく施工体制台帳(①施工体制台帳②下請負人に関する事項③再下請け負通知書④下請負契約書) (下請契約を締結した工事の場合)	提		工事現場施工体制等チェック様式等(例:「施工プロセス」チェックリスト)による確認 施工体系図の掲示	
	損害保険等		保険種別, 期間, 保険金額, 工期延期の手続き	○			

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
一般 共通 事項	建設業退職者 共済制度 (建退共)		掛金収納書, 受払い簿, 制度に関する掲示	○		証書の確認	
	(1.1.10) 工期変更資料		変更工程表, 説明資料, 理由書	提			
	(1.1.12) 文化財その他の 埋蔵物		埋蔵物の適法処理	立			○
	(1.2.1) 実施工程表		実施工程表, 必要に応じて工程調整会議	承提			
	(1.2.2) 施工計画書		総合計画書, 工種別の施工計画書	承提		特記の確認	
	(1.2.3) 施工図等		別契約工事との調整, 総合図	承			
	(1.2.4) 工事の記録		協議内容, 指示内容, 工事の経過, 施工の記録, 工事 写真等	提			
	(1.3.3) 電気保安技術者		証明資料	承		特記の確認	
	(1.3.5) 施工条件		施工時間, 休日及び夜間作業	承提		特記の確認	
	(1.3.8) 発生材の処理等		副産物の抑制, 再利用, 再資源化, マニフェストの確 認 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法, 調書	提		特記、廃棄物処理委託契約書 の確認、再生資源利用計画書 の提出 関連法規等の確認	

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
一般 共通 事項	(1.4.1) グリーン調達		証明資料 重点品目は完成時に所定の様式による提出	提		グリーン購入法 神戸市調達方針の確認	
	(1.4.2) 材料の品質等		材質, 仕上げの程度, 色合い, 同等品願い	承			
	(1.4.4) 材料の検査等		J I S又はJ A Sマーク表示, 規格証明書	検		特記の確認 各章の検査, 試験等の項目に 適用	
	(1.4.5) 材料の検査に伴う 試験等		試験方法, 試験計画書, 試験場所	立検		各章の検査, 試験等の項目に 適用	
	(1.5.2) 技 能 士		証明書	○		特記の確認	
	(1.5.5) 施工の検査等		指示工程毎の検査	立検			
			見本施工	立検		特記に記載された場合	
	(1.5.9) 化学物質の 濃度測定		測定対象物質, 測定方法, 測定箇所数 測定室の指示, 技量証明書資料, 成績報告書の確認	提		特記の確認	
(1.7.2,3) 完成図等		完成図, 保全に関する資料	提		特記の確認		

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
一般 共通 事項	主任技術者 監理技術者		監理技術者：3000万円（建築一式工事の場合は4500万円）以上を下請契約する場合	○			
	近隣家屋調査		内外観，傾斜，水平，写真撮影，報告書	○		特記の確認	○
	モデルルーム			立検		特記の確認	○
	官庁検査		建築指導部検査，消防検査，福祉関連検査等	立			
	連絡体制	緊急時	事故発生時，災害時等の対応	○			
休暇等		GW，盆休み，年末年始等の長期休暇	○				
仮設 工事	仮設計画	(1.2.2) 施工計画書 (2.1.1～.2) (2.2.4) (2.3.1～.43)	仮設建物配置，工事用各種機械設備，動力，給排水設備，仮囲い，搬出入計画，警備員の配置，洗車設備，他事業との関連，現場の安全対策，足場養生シート，公害防止，工事標示板，実施工程表	提		特記の確認 建築工事監理指針参照	○
	安全対策等	設計図書に特記		○			○
		一般的な対策			○		

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
仮設工事	建物配置	(2.2.1) 敷地状況確認 及び縄張り	敷地境界，隣接土地建物，搬入道路	立			○
			建物位置の検査	立検			○
		(2.2.2) ベンチマーク	不動点の確認	立検			○
			現況地盤高の確認，完成地盤高の検討	立			
		(2.2.3) 遣り方	基準墨の検査	立検			○
	工事前仮設物	(2.4.1) 仮設物撤去 その他	仮設物撤去，跡地整理状況	立			○
			仮設物の移転が生じ，工事目的物の一部を使用する場合	立承			○
土工事	準備	(1.2.2) 施工計画書		承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
	(3.2.1) 根切り	根切り底	地質調査資料との対比，指示地盤の検査，深さの検査，床付面の保護，地下障害物等の点検とその処理方法の指示，施工計画書内容の検査	立検			○
	(3.2.2) 排水		湧き水・たまり水等の処理の確認，予想外の出水等の協議，根切り底・法面の保護，敷地内と近隣との安全性の確認	立			○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
土 工 事	(3.2.3) 埋戻し及び盛土		土質の確認、締固め方、余盛り 型枠存置の協議	○		特記の確認	○
	(3.2.5) 建設発生土の処理		処分地、再利用及び工事間流用の確認	○		特記の確認	
	(3.3.1) 山留め	(3.3.2) 管理	異常時処理の協議及び指示	立			○
		(3.3.3) 撤去		立			○
地 業 工 事	準備	(1.2.2) 施工計画書	既成杭地業、場所打コンクリート杭地業、地盤の載荷 試験、施工管理技術者証明資料	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
	杭材料	(4.3.2) 既成 コンクリート杭	[RC杭, PHC杭] JIS マーク, 材種・寸法, 継手箇所数, 杭先端形状	立検		特記の確認 規格証明書	○
			[SC杭, PRC杭, ST杭他] 材種・寸法, 継手箇所数, 杭先端形状	立検			○
		(4.4.2) 鋼杭	[鋼管杭, H形鋼杭] JIS マーク, 材種・寸法, 杭先端形状, 補強	立検			○
		(4.5.3) 場所打ち コンクリート杭	鉄筋: 結束, 継手, 溶接, 鉄筋かご補強, かぶり厚さ 〔5章 鉄筋工事〕の適用	立検			○
			コンクリート: 種別, 強度試験, スランプ試験 〔6章 コンクリート工事〕の適用	立			

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影	
	要点	細目						
地 業 工 事	工 法	(4.3.4) セメントミルク 工 法	技量証明書資料，圧入による杭の建込み	立 提			○	
		(4.5.4) アースドリル、リバー ホールディング工法	深さ及び支持地盤	立 検			○	
	(4.3.7, 4.4.6) 杭頭の処理		杭頭の処理方法，結果の確認，切取り部分の処理杭頭 の補強方法	立			○	
	(4.2.2) 試 験 杭	(4.3～4.5)	特記なき場合最初の1本，支持力・支持地盤の確認各 種管理基準値，場合によって施工計画変更	立 検		特記の確認	○	
	(4.2.5) 報 告 書	(4.3.8, 4.4.6, 7, 4.5.7) 施 工 記 録	すべての杭，継手，打込み深さ，高止まり量，セメン トミルク量，施工時間，杭の傾斜，水平方向のずれ， 推定杭耐力，杭頭処理	提				
	(4.6.3～4.6.5) 割り石，砂， 砂利，捨コンク リート地業床下 防湿層	(4.6.2) 材 料	品質・形状・寸法・厚さ	○		再生クラッシュランの使用		
		(4.6.6) 施 工 記 録	締め固め状況，仕上がりレベル	○				○
	(4.2) 施 工 試 験	(4.2.3) 杭の載荷試験	試験箇所数及び試験位置	立		特記の確認 敷地調査共通仕様書		○
		(4.2.4) 地盤の載荷試験	試験箇所数及び試験位置	立				○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影	
	要点	細目						
地業工事	地盤改良	(1.2.2) 施工計画書	材料, 工法, 配合条件, 施工管理	承提		建築工事監理指針参照		
		施工記録	効果確認, 圧縮強度試験報告書, 六価クロム溶出試験報告書	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	○	
		試験	試料採取	承立			○	
鉄筋工事	準備	(1.2.2) 施工計画書	鉄筋工事, ガス圧接	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照		
	(5.1.3) 配筋検査	主要構造部の組立・配筋	鉄筋・埋設物の位置・数量・継手・定着長さ, かぶり厚さ, 施工図との相違, 鉄筋の種類, ミルシート, メタルタッグの照合, 組立精度, 開口部補強, 鉄筋の方向	立検			○	
	(5.2) 材料	(5.2.1) 規格証明	J I S規格データ (規格適合品は試験成績データの検討) 又は建築基準法第37条第2号の大臣認定書	検提		規格証明書等の提出		
	(5.4) ガス圧接	(5.4.2) 技能資格者		ガス圧接技能資格の証明	提		資格証明書の提出	
		(5.4.3) 品質		ふくらみ, ふくらみ長さ, 圧接面のずれ, 偏心, 折れ曲がり, 焼き割れ, へこみ, 垂れ下がり, 整備済器具の使用	立			○
		(5.4.9) 試験		(外観) 欠陥の有無, 全圧接部	立検			○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
鉄筋工事	(5.4) ガス圧接	(5.4.9) 試験	(試験方法) 超音波探傷試験－1ロット30箇所 引張試験－1ロット3箇所	立検承		検査成績書の提出 試験従事者証明書	○
		(5.4.10) 不合格となった 圧接部の修正	原因の調査, 改善措置	承			
コンクリート工事	準備	(1.2.2) 施工計画書	コンクリート工事, 型枠工事	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
	材料	(6.2, ~6.5) コンクリートの 計画調合書 <配合報告書>	種類, 強度, 種別, 混和材, 温度, 空気量, 水セメント比, スランプ, 単位水量, 単位セメント量, 塩化物含有量, 骨材のアルカリシリカ反応試験報告書の確認 フレッシュコンクリートの試験の適用 コンクリートの強度試験の適用 骨材試験結果報告書の確認 (RC, SRC造3階建以上又は500㎡を超えるものコンクリート工法に関する指導要綱 (兵庫県))	承提		特記による 構造コンクリートの調合管理 強度は, 設計基準強度 (Fc) + 構造体強度補正值 (S) 試験結果の報告	
	(6.2, ~6.5) 打設準備	(6.4.1) 製造工場の選定	工場現場内の運搬方法・運搬時間, 工場の製造能力・運搬能力, 施工管理技術者の証明等	承		同一打込工区への複数 工場混合使用を避ける	
		(6.3.2) 試し練り	I類コンクリート以外の場合	立			○
	(6.6) 打設	(6.6.4~5) 打込み・ 締め固め	固め打止め箇所, 打継ぎの処理, 埋設物の位置確認, 傾斜形シュートの承諾, 目地寸法, 掃除, 散水, 打込み計画書, 打込み後の確認	立			○
(6.6.7, 6.9.6) 構造体補修		主要構造部…補修方法指示 →補修後の検査 その他…補修方法の承諾→補修後の確認	立			○	

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
コンクリート工事	(6.8) 型 枠	(6.8.4) 型枠の組立	支保工、型枠の種類、スリーブ、止水板、はく離剤の選定、表面の清掃、紙チューブの力骨・力板 断熱材等の位置・固定方法	立検			○
		(6.8.5) 存置期間及び取り外し	強度試験結果、材齢、気温、荷重、支柱の盛り替え、型枠締め付け金具の頭処理	○		圧縮強度より定める場合は承諾	○
	(6.9) 試 験	(6.9.1) 適用範囲	試験の省略	承		軽易なコンクリート工事 (用途が特に重要でない場合、使用するコンクリートの量が少ない等) 建築工事監理指針参照	
		指定試験所での試験	同意書様式の引渡、試験体に疑義が生じた場合・不合格の場合の対応	○			
		(6.9.2~3) フレッシュコンクリートの試験	①試料の採取 普通コンクリート(*1) - 150m3毎 (荷卸し場所) 軽量コンクリート - 150m3毎 (荷卸し場所) ②試料の数 (スランプ、空気量、塩化物量*2) 3台の運搬車×1回=3回 ③供試体 (テストピース) の数 3台の運搬車×3(4)個=9(12)個 (①管理試験用、②脱型用、③材齢28日 (④ ③では所定の圧縮強度が得られないことが懸念される場合、材齢28日以上91日以内 (セメントの種類が普通ポルトランドセメント以外の場合、材齢は28日及び28日以上91日以内) *3)	立承		標準仕様書参照 *1 変動が著しいと思われる場合は、その品質を代表する箇所から採取 (筒先採取) *2最初の測定は、打込み当初とし、カンタブを使用する場合は、3枚 *3①標準養生 ②・③現場水中養生 ④現場封かん養生	○
		(6.9.3~6) コンクリートの強度試験	脱型用、管理試験用の強度試験については、必要に応じて確認 材齢28日の強度試験については、公的機関等で試験を行うため省略できる	立承		標準仕様書参照 試験成績書の報告	○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
コンクリート工事	特殊コンクリート	(6.12) 暑中における コンクリートの取扱い	調合・練りませ・運搬・打込み・養生方法, 規定外混和剤の使用法の検討	○			○
		(6.10) 軽量 コンクリート	骨材・調合・練りませ・運搬・打込み等の検討	○			
		非構造用軽量 コンクリート		○		特記の確認	
		(6.11) 寒中 コンクリート	工事用資材と保護施設・調合・養生の方法, それらの管理方法, 打込み時コンクリート温度, 養生 打切り時期, その他の検討	○		適用期間, 高度差補正の確認	○
		その他の コンクリート	混和材料の検討	○		特記の確認	
鉄骨工事	(7.1) 一般事項	(1.2.2) 施工計画書	製作要領書, 溶接施工管理技術者 溶接工等技量証明書, 建方計画, 搬入計画	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		(7.1.3) 鉄骨製作工場	製作工場のグレード, 能力, 精度, 機械, 社内検査, 運搬, 検査成績表	承		特記の確認	
		(7.1.4) 施工管理技術者	資格証明, 工事経歴書の確認	承		特記の確認	

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
鉄骨工事	材 料	(7.2.1) 鋼 材	J I S規格・マークの確認, ミルシート	検提		規格証明書の提出	
		(7.2.2) 高力ボルト	トルシア形, J I S形, 溶融亜鉛めっき, 径, 首下寸法, 締付け長さに加える長さ	承提		規格証明書の提出	
		(7.2.3) 普通ボルト	材質, 形状, 寸法	承提		規格証明書の提出	
		(7.2.4) アンカーボルト	材質, 種類, 規格, 等級, 形状, 寸法	承提		規格証明書の提出	
		(7.2.5) 溶接材料	溶接棒, ワイヤー, フラックス, ガス	提		規格証明書の提出	
		(7.2.6) ターンバックル	割枠式, 羽子板ボルト	提		規格証明書の提出	
		(7.2.7) デッキプレート	材質, 形状	提		規格証明書の提出	
	(7.3) 工 作 一 般	(7.3.2) 工 作 図	現寸図 (床書き現寸図) スケール合わせ	立検		自動加工装置を用いる場合は作成省略可 特記の確認 鉄骨工作標準図	○
			各部寸法, ゲージライン, スリーブの位置, 鉄筋貫通孔, クリアランス等	承			○
	(7.3) 工 作 一 般	(7.3.3) 製 作 精 度	部材の組立, 溶接開先加工精度, 溶接形状の精度	承		鉄骨工作標準図 日本建築学会 「鉄骨精度検査基準」	
(7.3.5) 切 断 ・ 加 工		自動ガス切断, 剪断切断 (厚13mm以下), ひずみの矯正, 鉄筋貫通孔径, ボルト孔, 塗装	○				
製 品 検 査		工作図・現寸図との照合, 製品精度, 各部寸法, 溶接検査, 社内検査基準, 成績表の承諾, のど厚 ひずみ, 超音波探傷試験, 超音波探傷試験技能資格の証明, 鋼材規格の試験 塗装	立検		工事現場組立符合図 検査報告書	○	

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
鉄骨工事	(7.4) 高力ボルト接合	(7.4.2) 摩擦面の処理	浮き錆・塵埃・油の付着等摩擦力を低減させるものの除去	立検			○
		(7.4.7) 締付け	一次締付けトルク値, マーキング	立検			○
		(7.4.8) 締付けの確認	トルシア形：検査記録の提出を受けた後目視検査（回転量, ピンテールの破断）, ボルトの余長 JIS形：検査記録の提出を受けた後目視検査（トルクコントロール法又はナット回転法による場合の確認）, ボルトの余長	立検			○
	(7.6) 溶接接合	(7.6.2) 施工管理技術者	溶接施工管理技術者資格証明書, 工事経歴書（JIS Z3410の有資格者）	承提			
		(7.6.3) 技能資格者	溶接技能資格者の証明	承提		技量証明書	
		(7.6.10~12) 溶接部の確認・試験, 補修	施工後（のど厚, 長さ, 形状, ひずみ, 仕上げ） 浸透探傷試験, 磁粉探傷試験, 超音波探傷試験 不合格溶接の補修	立検提		特記の確認 検査成績書, 検査技術者の資格証明書	○
	(7.7) スタッド・デッキプレート溶接		アークスポット溶接, 隅肉溶接, 焼抜き栓溶接 技能者, 精度, 施工, 外観試験, 打撃試験, 不合格溶接の補修, 気温	立検		特記の確認	○
	(7.8) 錆止め塗装		品質, 塗り回数, 塗装範囲, 塗装の種別, JIS 製品の確認, 接合部の塗り回数, 塗装しない部分	立			○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
鉄骨工事	(7.9) 耐火被覆		厚さおよび密度の検査、貫通部の処理、確認ピン、耐火表示の確認、耐火被覆材製造所の仕様	立		特記の確認 石綿含有率0%の確認	○
	(7.10) 工事現場施工	(7.10.2) 建方精度	JASS 6 付則 6 鉄骨精度検査基準	立検		鉄骨工作標準図	○
		(7.10.3) アンカーボルト	位置・固定方法・天端仕上げの確認、種別、基準墨、養生、ベースプレートの保持	立		特記の確認	○
		(7.10.4~5) 搬入・建方	搬入計画、養生、仮すじかい、仮設補強、安全性の確保、仮ボルト、ひずみの修正、建入れ直し、形状及び寸法精度	立検			○
パネル・押出成形セメント・ALC コンクリートブロック工事	準備	(1.2.2) 施工計画書	補強コンクリート造、コンクリートブロック帳壁及びび 塀、ALCパネル、押出成形セメント板工事	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
	(8.2) 補強 コンクリート ブロック造 (8.3) コンクリート ブロック帳壁 及びび 塀	(8.2.2) 材料	寸法、形状、鉄筋の材質、JIS規格の確認	立検		特記の確認	○
		施工図	割付け、配筋位置、スリーブ、開口部まぐさ、アンカーボルトの位置、配管ダクト	承		既製まぐさの使用承認	
		施工	壁縦筋は継手しない、縦やり方、調合、配筋、開口部補強、一日の積上げ段数、上部すき間モルタル詰め、目地、寒冷期の施工、基準墨	立			○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
パネル・コンクリートブロック・ALC 押し出し成形セメント板工事	(8.4~5) ALCパネル, 押し出し成形 セメントパネル	(8.4.2) 材 料	コンクリートの調合・配筋・打込み金物の位置の確認, JIS 規格品 (寸法・精度・ひび割れ・破損)	提		特記の確認 検査成績表 検査記録	○
		施 工 図	パネルの割付け・取付け金物の位置, 寸法	承			
		施 工	外観パネル, 間仕切壁・屋根及び床パネルの工法の確認, 組立て機械, 組立て順序, つなぎ材, 控え材	立		特記の確認	○
		部 材	取付け金物・JIS の確認	検		検査記録	○
		組立て完了	組立て位置の精度・接合用鋼材の芯ずれ ひび割れ・破損・ねじれ	立			○
防 水 工 事	(9.1) 一 般 事 項	(1.2.2) 施工計画書		承提			
		防水施工者	指定施工業者の確認	承		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		保 証 書	請負人, 材料製造所, 防水施工者の連帯保証	承		特記の確認	
	(9.2) アスファルト防水 (9.3)改質アスファルト シート防水 (9.4)合成高分子系 ルーフィングシート 防水 (9.5) 塗 膜 防 水 (9.6) ケイ酸質系塗布防水	防 水 材 料	指定製造所の確認, JIS マークの確認, 特殊ルーフィング等の指定, メーカーの確認, 所要量	検提		品質証明書	○
防水層の下地		下地の塗りむら, 水勾配, 落口廻り勾配, 下地乾燥の確認, 下地クラックの処理	立			○	

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
防水工事	(9.2) アスファルト防水 (9.3)改質アスファルトシート防水 (9.4)合成高分子系ルフィングシート 防水 (9.5) 塗膜防水 (9.6) ケイ酸質系塗布防水	施工	塗布方法, 増し張り, 指定層数, 厚さ, 重ね, ドレーンとの取合い, 既設防水層との取合い, 配管類との取合い, 立上り部納まり	立検			○
		漏水試験		立検承		特記の確認 結果報告書提出	○
	(9.2~9.6)	押え層仕上げ	押さえコンクリートの骨材の確認, 伸縮目地充填材・目地割り, EXP. Jの納まり	○			○
	(9.7) シーリング	(1.2.2) 施工計画書	材料, 有効期間の確認, 被着体に応じたもの, バックアップ材, ボンドブレイカー	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		(9.7.2) 材 料	シーリング材の種類, バックアップ材	○		特記の確認	○
		(9.7.4) 施 工	気温, バックアップ材・ボンドブレイカーの挿入状況の報告施工箇所, 目地幅・厚み等・サンプル試料の提出	検提			○
	石工事	(10.1 ~10.2)	(1.2.2) 施工計画書		承提		特記の確認 建築工事監理指針参照
施工図			石割付図, 取付け方法, 危険防止, 一枚の大きさに注意(製作可能な限度, ひずみを起こす限度)運搬限度, 取付け詳細, 伸縮目地, 目地幅	承			
(10.2.1) 材 料			品質, 産地, 仕上げの限度, ひずみ, 色調, 種石の種類, 粒の大きさ, 色合い及び仕上げの程度, 製作期間の確認	立提		特記の確認 見本品の提出	○
(10.3 ~10.7) 工 法		施 工	目違いの有無, 下地との緊結状態, 裏込めモルタル, 養生, 清掃, 防水剤, ひっぱり・取付金物	立		特記の確認	○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
タイル工事	(11.1 ~11.4)	(1.2.2) 施工計画書		承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施工図	平、役物、水切りタイル等の使用区分、目地幅、取合い材との納まり、設備器具との取合い	承		割付図の提出	
		材料	品質、寸法、指定メーカーの有無、見本品の決定、色調、製作期間の確認、既製調合モルタル、見本焼き	○		特記の確認	○
		施工	下地モルタル、防水剤使用の有無、床の水勾配、目地の仕上げ及び幅、養生、清掃 せき板の散水、コンクリートの締め固め、型枠取り外し、目地仕上げ、清掃	立		特記の確認	○
		(11.1.5) 打診確認	屋外のタイル張り及び屋内の吹抜け部分等のタイル張り	○		検査結果報告	○
			浮き・ひび割れ等によるタイルの張直し	立承		検査結果報告	○
		(11.1.5) 接着力試験	試験体の位置の指示 (陶磁器質タイル張り) 0.4N/ m ² 以上 (陶磁器質タイル型枠先付け) 0.6N/ m ² 以上	立承		検査結果報告	
木工事	(12.1 ~12.7)	(1.2.2) 施工計画書		承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施工図	各部寸法、コンクリートの取合い、仕上げとの関係、ちり、軸組方法、合板、割り付け、設備機器との取合い、点検口	承			
		(12.2) 材料	樹種（代用樹種）、寸法、等級、材長、ひき立て・仕上がり寸法に注意、集成材、含水率、防腐処理、防蟻・防虫処理材の確認（特記による）釘、構造金物、接着剤	提		発注書の提出 JAS マーク、JISマーク 防蟻・防虫処理材証明書提出	○
		施工	接着剤、仕口、継手、水平、通り、緊結金物、防腐剤塗り、主要墨の確認	立			○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
屋根及びとい工事	(13.1 ~13.5)	(1.2.2) 施工計画書	長尺金属板葺, 折板葺, 瓦葺, とい, 耐風圧性	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施工図	軒先, 棟, ケラバの納まり, 谷どい, ルーフドレイン, とい受け金物の位置, 防露材, 防火区画の貫通, 断熱材の取付け	承			
		材料	指定製造所・工法の確認, 厚さ, 品質・形状の確認, 色調	○			○
金属工事	(14.1 ~14.8)	(1.2.2) 施工計画書		承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施工図	割付け, アンカーボルトの位置, 開口部補強, 材質・形状・寸法・固定方法・埋め込み金物の間隔, 周辺との取合い, 設備機器との関係	承			
		材料	材質・寸法・形状 溶融亜鉛めっきの外観検査, JIS規格品の確認	○		見本品の承諾 仕上げ, 色合いの承諾	○
		施工	寸法・固定方法, ねじれ, 曲り, 仕上げ, 通り, 埋込み金物の位置, 補強材, 養生, 安全性の確認 (特に手すりの高さ, 手すり子のピッチ, 足元のクリヤランス, 足掛かり高さ等に注意), 開口補強	立		主材製造所の仕様	○
左官工事	(15.1 ~15.8)	(1.2.2) 施工計画書		承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	JIS マーク確認, 指定製造所, 指定品質の確認, 塗り見本の決定, 砂の粒度, 接着剤の種別, 混和剤, 給水調整剤, 塩分, 仕上げ, 色合い	○		見本品の承諾 仕上げ, 色合いの承諾 塗布量の報告	○
		施工	混和剤の使用量, 下地湿し, 定規ずり, 床勾配, 目地切り, こて押さえ・研出し仕上げの程度, 塗り・吹付け厚さ及び回数, 養生方法	立		下地処理 下塗り養生期間	○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
建 具 工 事	(16.1 ~16.13)	(1.2.2) 施工計画書	アルミニウム製建具, 鋼製建具, 鋼製軽量建具, ステンレス製建具, 木製建具, 重量シャッター, 軽量シャッター, オーバーヘッドドア	承 提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施工図 (建具製作図)	神戸市型の確認, 取合各部関連工事との納り, 金具取付部分等の補強, 表面処理方法, 下地, 金物, ガラス取付け方法, 材種, 寸法, 形状, ビス材種・形状	承		建具見本の製作は, 特記による。	
		製 品	内法, 部材寸法, 仕口, 材質, 溶接跡, ひずみ, 通り, 防錆処理, 金物用穴あけ, 取付け足, 組立て方法, 仕上げの程度, はずれ止め	○			○
		性 能	耐風圧性, 気密性, 水密性, 遮音性, 防火性	承		特記の確認 試験成績書の提出	
		取 付 け	位置, 立ち, 水平, ひずみ, 通り, 枠廻り, 踏づら, 周囲モルタル詰, クサビ取り, 溶接部の塗装	○			○
		開 閉 調 整	開閉調整, 施錠調整, 仕上げ塗装完了後再調整操作方法表示	○			
		(16.8) 建具用金物	指定金物の確認, 性能の検討, 材質, 寸法, 数, 建具の大きさ・重量との関係	承 提		見本品の提出	
	鍵	種類, 施鍵の方向, マスターキーの検査・鍵の名札, 非常用時操作方法の表示, 鍵箱	提		施錠計画 (マスターキー) 鍵の一覧表の提出		
	(16.14) ガ ラ ス	材 料	規格, 種別, 厚さ, パテの規格, ガスケット	提		見本品の提出	
		施 工	敷パテ, クリップ取付け間隔, 清掃, 破損防止, ガスケット, シーリング, 防錆処理	立			

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
カーテンウォール工事	(17.1 ~17.3)	(1.2.2) 施工計画書	工場生産のメタルカーテンウォール・PCカーテンウォール	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		施工図	形状、寸法、仕上がり、必要性能、組立て法、金物取付部分の補強、表面処理方法、ガラス取付け方法、関連工事との納まり	承		特記の確認	
		製品	材質、形状、表面仕上げ、コンクリートの種類・品質、鉄筋、ガラス	○		特記の確認	○
		性能	形状、寸法、耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性など	承		特記の確認	
		取り付け	立ち、水平、ひずみ、通り、防錆処理、アンカー、溶接部の塗装、周囲モルタル詰め、シーリング材料、ガasket、断熱材料、摩擦低減材料、取付け金物、許容寸法	立			○
塗装工事	(18.1 ~18.14)	(1.2.2) 施工計画書	コンクリート、木部、金属、ボード類、左官塗り等の素地、MSDS	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	材種の確認・見本帳・見本塗り板、F☆☆☆☆	○		特記の確認	○
		施工	ラワンの目止め、きず補修、節止め、金属面の処理、工法の種別、下地面の乾燥、各層の乾燥程度、ペーパー掛け、はけ斑、塗り回数、吹き付けの養生、換気、気温、火気注意	○			○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
内装工事	(19.1 ~19.9)	(1.2.2) 施工計画書	床, 壁, 天井	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		(19.2.2) 材料	JIS マークの確認, 指定製造所の確認, ボード釘の種類, 接着剤の種類, 見本品, 色合い, 模様, 厚さ, F☆☆☆☆	提		特記の確認 証明書(格付け, 難燃・不燃, 防虫処理等) 品質検査, 検査報告書	○
		施工図	床, 巾木, 壁・天井の割り付けを関連して検討する。シート類の継手, はぎ目の位置, 床材の継手位置調整	承			
		(19.2.3) 施工	むら, 下地面のくいちがい, トランプ [®] による表面の汚損, 接着剤のはみ出し, 養生, 仮敷き	○			
ユソニツ他工及び	(20.1) 一般事項以外	材料	指定製造所の確認, 見本品の承諾, 仕上げ, 色合いの承諾, 材質, 寸法, 接着剤, 性能	○			
		施工	寸法(特に高さ・手すり子のピッチ・足元のクリアランス, 足掛かり高さ等に注意)・固定方法・設備工事の関連・埋込み金物の間隔・安定性の確認, 防腐	立			○
	(20.2) ユニツト	材料	材質, 形状, 寸法, 接着剤, 品質, 色合い	○			
		施工	アンカーの間隔, 色の決定, 安全性	立			○
	(20.3) プレキャストコンクリート	(1.2.2) 施工計画書	手すり, 段板, ルーバー等の工場製品	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材料	調合, 鉄筋, 補強鉄筋, 取付金物, 養生	○			○
取付け		溶接工資格, 取付部溶接の確認, 隠蔽部	立			○	

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
ユ ソ ニ の ツ 他 ト 工 及 事 び	(20.4) 間知石及びコンクリート 間知ブロック積み	材 料	材質，形状，表面仕上げ，コンクリートの調合	○			
		施 工	やり方，裏込めコンクリート厚さ，一日の工程・積上げ高さ，目地仕上げ，養生，水抜きパイプ	立			○
	敷地境界石標	製 品	仕上り，文字，記号	○			
		施 工	据え付け番号順序，据付け位置，据付け方法，固定具合	立		隣地地主・その他関係者の立会いを求める。	○
排 水 工 事	(21.1～21.4)	(1.2.2) 施工計画書	屋外雨水排水工事	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材 料	排水管の品質，径，形状，割れ	○			○
		通 水 試 験		立 検 承			
		(21.3) 施 工	水流れ勾配，継手モルタル詰め，危険防止，交通障害の考慮	○			○
舗 装 工 事	(22.1～22.9)	(1.2.2) 施工計画書	構内舗装，側溝，街きよ，縁石	承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材 料	JIS 規格品，種別及び見本種別の確認，砂利，砕石の質・粒度・調合，コンクリート平板のきず・割れ	○		品質証明書	

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
植栽工事	(23.1 ~23.45)	(1.2.2) 施工計画書		承提		特記の確認 建築工事監理指針参照	
		材 料	樹木（種別，葉張り，高さ，幹目通り寸法），客土，肥料，支柱 芝（種類，生き状態），土壤改良材	○			
		施 工	植栽基盤の整備 （仮植，移植，施肥，養生，散水，支柱） （専門業者による） 地盤の土質，勾配，芝の目地，留付け，土羽打ち，散水養生，養生	○		枯れ補償は1年	○
耐震改修工事	準 備	施工計画書	工法，材料等	承提		改修特記の確認 建築改修工事監理指針参照	
		材 料	(8.2.11) グラウト工事	仕様の確認，グラウト材の実績資料	承提		実績資料等の提出
	無収縮モルタルの試験，採取			立提		試験成績書の提出	○
	(8.11) あと施工アンカー		施工管理技術者及び技能者証明資料等	承提		資格証明書等の提出	
		(外観)欠陥の有無，穿孔（径・深さ・清掃）アンカーの余長等の確認等	立検		改修特記の確認 建築改修工事監理指針参照	○	
	(試験方法)引張試験	立検提		改修特記の確認 試験成績書の提出	○		

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影	
	要点	細目						
アスベスト含有建材の処理工事	(9.1.2) 届	出	アスベスト工事に係る各届出書の提出	○		特記の確認 安衛法又は石綿則		
	(9.1) アスベストの 処理工事	(9.1.2, 9.1.3)	施工調査等	アスベスト含有材料の所在場所、部位、種別、厚さ及び使用面積等の確認	提		調査結果の提出	○
		(9.1.2)	アスベスト粉じん測定 の報告書	専門測定機関により、測定結果、測定時間、測定位置、サンプリング条件の確認	立		特記の確認 建築工事監理指針参照報告書の提出	
		(9.1.2, 9.1.3)	施工計画書	工事概要、管理組織、工事工程表、使用処理剤の説明、仮設計画、作業要領及びアスベスト廃棄物処理計画、技術審査証明書、特化作業主任者(H18.3.31までの取得者に限る)又は石綿作業主任者の技能講習修了証、特別管理産業廃棄物管理責任者修了証、特別教育実施記録等の確認	承提			
		(9.1.2, 9.1.3)	安全衛生管理	各処理工事に応じて休憩室の設置、洗浄設備、負圧除じん装置、立入禁止等の表示、養生、セキュリティゾーンの設置等の確認	立検		特記、改修特記の確認 建築改修工事監理指針参照 関連法規等の確認	○
			標識	①吹付け石綿等、石綿含有保温材等を使用する建物の解体・改修工事は黄色地の標識 ②①以外は、白地の標識	○		保護衣等・保護具着用 関連法規等の確認	
		(9.1.2, 9.1.3)	処理工事	アスベスト処理作業場以外（周囲）の安全衛生等の確認	○		補足共通仕様書の確認 標識の掲示	○

区分	監督項目		主な事項	業務の概要	メモ	備考	写真撮影
	要点	細目					
建ア材のベスト処理ト含有	(9.1) アスベストの処理工事	(9.1.2, 9.1.3) 検査及び後片付け	養生等の撤去後アスベスト処理面の確認	立 検		保護衣等・保護具の着用	○
		(9.1.2, 9.1.3) 施工記録	施工計画書, 工事記録写真及び工事写真, 産業廃棄物処理記録, 施工調査等記録, 作業者の作業記録, その他必要事項	提		施工記録の提出	
とりこわし等工事	施工計画書		工事の届出, 仮設計画, 解体工法, 解体順序, 養生方法, 解体材の処分方法及び処分先, 解体材の運搬経路, 作業予定, 安全対策, 在来地盤高の明記, 石綿建材の処理(法, 条例等の確認), 再生資源利用(促進)計画書	承 提		特記の確認	
	施工範囲		近隣家屋, 土地, 道路などの現況確認, 撤去範囲の確認, 設備引込み類の処理方法の確認	立		特記の確認	○
	施工		騒音, 振動, 塵埃, 安全対策, 道路の汚損防止	立		特記の確認 「建設工事公衆災害防止対策要綱」	○
	建設副産物の発生の抑制, 適正処理及び再利用の促進		処分場, 再資源化施設 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出	提		特記の確認 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 「建設副産物適正処理推進要綱」 「再資源利用〔促進〕(計画・実施)書」の提出	